

(様式1)

写真貼付

教 員 選 考 申 請 書

- ふりがな ○○○○ ○○○○
1. 氏名 (署名) ○ ○ ○ ○ ※氏名 (署名) は自筆で記入すること。
2. 生年月日 西暦○○年○○月○○日 (○○歳) ※採用発令予定日現在
3. 現 職 ○○大学○○学部 (○○講座) 准教授
4. 応募を希望する職名 特任准教授 ・ 特任講師 ・ 特任助教
5. 所属機関住所 〒○○○-○○○○
○○県○○市○○○○○○○ 1-2-3
(電話) () -
6. 現 住 所 〒○○○-○○○○
○○県○○市○○○○○○○ 1-2-3
(電話) () -
(携帯電話) () -
7. メールアドレス ○○○○@○○○.○○.ac.jp
8. 連 絡 先 自宅 ・ 勤務先
9. 学 歴 西暦○○年○○月 ○○大学○○学部卒業
西暦○○年○○月 ○○大学大学院○○学研究科 (修士課程) 修了
西暦○○年○○月 ○○大学大学院○○学研究科 (博士課程) 修了
10. 学 位 西暦○○年○○月 博士 (○○) (○○大学甲○第○○○号)
11. 資 格 ○○○○ 西暦○○年○○月○○日 (第○○○号)
12. 職 歴 西暦○○年○○月 ○○株式会社○○部
西暦○○年○○月 ○○大学講師○○学部 (○○講座) 講師
西暦○○年○○月 ○○大学大学院准教授○○研究科 (○○分野) 准教授
(現在に至る)
13. 賞 罰 西暦○○年○○月 優秀社員 (MVP) 賞
14. 所属学会等 日本○○学会 (評議員), 日本△△学会 (評議員)
(役員名、委員名) 外国の学会 (原文表示)
15. 外国滞在歴 西暦○○年○○月～○○年○○月
(留学・現地駐在含) 米国○○University (visiting Professor)

(様式2)

研究業績書

(「教員選考申請書等記入要項」を参照)

(様式 3)

教育業績書

(「教員選考申請書等記入要項」を参照)

(様式 4)

実務経験・社会活動業績書

(「教員選考申請書等記入要項」を参照)

教員選考申請書等記入要領

□ 全般的事項

- 1 申請書の様式に従って作成すること。
- 2 外国語は、必ず活字体で記載すること。
- 3 年月日はすべて西暦で記載すること。

□ 教員選考申請書（様式1）

- 1 氏名（署名）は自筆で記入すること。
- 2 年齢は、採用発令予定日現在の満年齢を記入すること。
- 3 応募を希望する職名は、特任准教授。特任講師または特任助教のうち、希望する職名に○を付すこと。
- 4 メールアドレスは、選考の過程においての諸連絡に使用するので正しく記入すること。
- 5 「連絡先」は、自宅、勤務先のいずれかに○を付すこと。
- 6 「学歴」について
大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上と認められる学歴を有する者は、それらの学歴をすべて記入し、その他の者は、最終学歴について記入すること。
＜例＞ 西暦〇〇年〇〇月 〇〇大学〇〇学部卒業
西暦〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇学研究科（修士課程）修了
西暦〇〇年〇〇月 〇〇大学大学院〇〇学研究科（博士課程）修了
- 7 「資格」は参考となる資格及び語学能力を記入すること。
- 8 「職歴」について
(1) 職歴のすべてについて記入すること。なお、現職については必ず「現在に至る」と記入すること。
(2) 研究者としての外国留学、研究生、聴講生、副手等も記入すること。
- 9 「所属学会等」について
(1) 本人の専攻、研究分野等に関連した事項についてのみ記入すること。
(2) 大学の教員の場合、所属する大学の委員を除き、審議会等の主たる委員会の委員について記入すること。
- 10 「外国滞在歴」は、外国出張、現地駐在、留学等について記載すること。また、出張先等、当時の身分は原語で記載すること。

□ 研究業績書（様式2）

研究業績書は、過去に研究業績がある者のみ提出する。記載方法は任意とするが、以下の内容を明確かつ簡潔に記載すること。

- 1 研究業績は、「著書」「学術論文」「その他の業績」の区分ごとに見出しを設け、それぞれ年代順に記載すること。
- 2 査読を経て掲載された学術論文については、論文名の後に「（査読あり）」と記載すること。
- 3 代表的な業績5編には論文番号を○で囲み、そのうち特に重要な業績2編については別刷り（コピー可）を添付すること。
- 4 学会誌等への掲載が決定している研究業績については、その旨を証明する書類を添付すること。

なお、投稿中または投稿予定のものは記載できません。

【記載対象】

著書：単著・共著を問わず記載すること。

学術論文：論文集、学術雑誌、学会誌、研究報告、紀要等に掲載された学術論文を記載すること。

学位論文については、論文名の下に「（博士論文）」又は「（修士論文）」と付記すること。

その他の業績：学会発表、総説、招待講演、特許、作品制作、受賞等必要に応じて記載すること。

□ 教育業績書（様式3）

教育業績は、過去に教育業績がある者のみ提出する。記載方法は任意とするが、以下の内容を明確かつ簡潔に記載すること。「担当してきた授業科目」を「国際交流、異文化理解、語学」等に区別して記載すること。実施機関名、期間、授業の内容等を記載すること。参考となる資料等がある場合は、添付してもよい。この場合、「概要」を記載し、書誌事項の前に「（参考資料添付）」と朱書きすること。教育業績に記載の事項は、他の業績書に記載の事項と重複しないように留意すること。

□ 実務経験・社会活動業績書（様式4）

実務経験・社会活動業績は、過去に実務経験・社会活動がある者のみ提出する。記載方法は任意とするが、主に担当したプロジェクト、国際関連業務、社会貢献活動等を記載する。「海外留学支援、国際交流、国際関連業務、発展途上国支援」等の実績に区別して記載すること。必要に応じて、業績内容を示す写真や図を掲載できる。

また、参考となる資料等がある場合は添付してもよい。この場合、「概要」を記載し、書誌事項の前に「（参考資料添付）」と朱書きすること。実務経験・社会活動業績に記載の事項は、研究業績書及び教育業績書に記載の事項と重複しないように留意すること。